



# Compass 2017

羅針盤

2017.11.20(月)

No. 35

室蘭市小学校  
外国語活動  
巡回指導教諭  
みなと小 相馬和俊



## —外国語活動の校内研修・研究授業を通して深める—

### 知利別小の研究授業・校内研修

#### ● 研究授業（全校参観授業）〔11月10日（金）実施〕

後期兼務校1つ目の研究授業は、知利別小です。6年2組の浦田学級に公開していただきました。学級の雰囲気は、温かい雰囲気の中にもピリッとしたところがある、まさに最高学年らしい学級です。知利別小独自の外国語プログラムの実施を3学期に控えていることから、兼務校の中でも早い時期の研究授業実施となりました。

この日は、英語講師の滝澤ジェーン先生とのTTで、Hi, friends! 2 Lesson8 What do you want to be? 1/4時間目の授業を公開していただきました。

#### ■ 主な展開（言語活動）

- ① フォニックスの指導 …講師の滝澤先生が指導しました。新指導要領に向けた先行的な取り組みといえます。
- ② Let's Listen …新出単語の指導です。滝澤先生からネイティブの発音で指導してもらいました。
- ③ Let's Play …センテンスの指導です。I want to be (a singer). の指導を、同じく滝澤先生が行いました。
- ④ Let's Play …単語とセンテンスの練習です。グループ活動の場面でしたが、この部分を担任の浦田先生がメインで指導しました。

知利別小は、基本的に毎時間英語講師の滝澤先生のサポートを受けていますので、後述する略案にも指導者の基本的な役割分担が分かるようになっていきます。フォニックスの指導は英語講師の滝澤先生がメインで担当し、その他のHi, friends! の指導は学級担任の先生がメイン、あるいは両者で指導というように、指導体制の型がきちんと共有されていることが、今回のTT授業にもよく表れていたと思います。

さて、放課後の事後研では、普段なかなか時間の確保ができないミニ研修に変えて、私が話をさせていただき時間を少しまとめて取っていただきました。次にその内容に触れたいと思います。

まず、前述した「略案」についてです。知利別小の巡回では、初日に各時間の略案が入ったファイルをいただきました。なかなかここまで整備された学校は他にありません。学校としての指導スタイルがしっかり構築・共有されていることをまずお伝え・確認させていただきました。

次に、今年度新たに文科省より出された（現時点ではデータのみ提供）小学校外国語・外国語活動研修ガイドブックの一部抜粋を用いて、今後の指導に向けての考え方の共通理解を図りました。（これにつきましては、同様の形でお時間をいただけるのであれば、今後の兼務校研究授業の際にもさせていただきたいと思います。）

最後に、明日からすぐ使える英語フレーズを紹介して終わりたいのですが、十分な時間がなくプリントだけ配布して終わってしまいましたので、この紙面で紹介したいと思います。

Compass No22 で紹介した『ネイティブなら 子どものときに身につける 英会話なるほどフレーズ100』がネタ本です。

### Please! じゃなくて Go ahead!

Stage1 “BABY” 編。一つ目のテーマが Go ahead. です。以下一部抜粋します。【「どうぞ」にあたる英語は Please. ではない。「どうぞ」といいたいときには、大きく分けてふたつある。ひとつはこの Go ahead. もうひとつは p20で説明する Here. である。Go ahead. は「お先にどうぞ」という意味だけではなく、相手から、「してもいい？」May I? などと聞かれて、「どうぞ」といいたいときに使う。つまり、相手の動作に対して「どうぞ」といいたいときに使われる。】

お分かりでしょうか。授業場面で、発言したくて手を挙げた子どもに対して、「言うてもいいよ!」の「どうぞ」は、Please. ではなくて Go ahead. ということになるのです。続きは本で…。

